

# 春合宿“メ班”

西口 正之

そもそもの間違いはメンツにあった。T, K, S, W, Nの5人である。この5人が集まれば、どう間違っただってハードな合宿にハマりわけがない。そうです。ノソビリとした奥に平和なサイクリングとなっていたのです。女々々……と騒ぐTと、そんなTにおどらされるK、一人達観したようなことを言っているS、そしていつも困ったような顔をしているW、そんな彼らを適当にあしらいつつ半ば失望し、半ば諦めざまの、それでもかすかな希望を捨てず、唯ひたすら走りつづけるNであった。そんな5人であるから何をやらがすかわかったものではない。最初に着いた高知駅前ユースでは、ユース精神に則って(？)夜おそく迄大食民をし(ここでもTは一人調子づき、他の4人をコキおろしていた)春向の果て夜中に非常階段で部屋を抜け出し近くの自動販売機に夜食を買いに行くという有り様であった。もつとも彼らが耐え難い空腹感に苛まれていたのも事実だが。またある日は、別のユースで夜ミーティングが終った後5~6人の女の子(お世辞にも“女の子”とは言えな様な生物ではなかったが)に誘われて、断れるのも気が引けて、しぶしぶトランプをいっしょにやり、それでもやっているうちに、おんだん面白くなってきてNまでがその雰囲気には吞まれてしまい、皆といっしょに騒ぎ出したのである。常に冷静なNですら我を忘れて騒いでしまったのだから

他の4人の乗り様は想像がつくであろう。我を忘れたトランプに熱中している彼らであるから自分達がどれ程の騒音を出しているか気がつく筈もなかった。そして遂に来たのだ。そうである。ユースの姉ちゃんが、(「は彼女を岩崎宏美に似ていると言っていた)「トランプやめるのもいいけど、もう少し静かにしてね。意外と優しいかった。そして彼らは再び騒ぎ始めた。又ふすまが開いて、今度は姉ちゃんではなく、姉オッサン(注; Kのことではありません)の顔がそこに有った。「君たち、いいんだよ、いいんだよ。トランプするのはいいんだよ。だけどもう少し小さい声で。もう少しスモール、フエール、スモール」と言ってお出で行ったのだ。スモールスモールスモールスモール.....



しかし、そんな彼らでも走る時は走ったのである。雨にも負けず風にも負けず女の誘惑にも負けず。足摺岬から柏島の大堂ユースに向う道が特に厳しかったと記憶している。悪天候は、下のチャリンコの故障(クランクのネジムがぶらぶらで、ヤタリがスポスポに当たった)ほかがある。コンディションは最悪であった。雨は降るし、汗はかく。ウインドブレーカーは外側も内側もググググググ。腹が減ってきたが食い物を持っている着はいい。体はだるく足は痛い。そろそろあたりは暗く暗くなってきて、行けども行けども大堂は近々かかい。ヤバイヤバイと思いつつ、誰かたすりヤタリを踏んだ。.....

そしてユースに着いたのだ。  
それあ、ハッカを着てしようよ

ユースに着いた感激と、今迄の疲労の為にT.W.K.S.の4人は、その場に倒れたまま、二度と起きあがる事はなかったのです！という文章を今私が書かなくても済むのは、やはり日頃のトレーニングの成果でしょうか。きっとそうでしょう。ウーン。

そして翌日は、昨日の雨が嘘の様にカラッと晴れたのでした。きっと彼らの意志が天に通じたのでしょうか。とにかく良い天気でした。彼らの心も天気同様カラッと晴れあがり、たいそう気持ち良くサイクリングを続けることができましたのです。

よかったね

•後にはってNは春合宿のことを色々考えてみたのだが、XX班については色々問題点も多かったと思うが、しかしトータルで見るとなかなか楽しい合宿であったと思うし、メンバーの全員が「サイクリングの楽しさを満喫できたと思う。その点に於ては、問題はないと思う。しかし、ユースに迷惑をかけた点等、反省すべきところも随分あると思った。宿泊はすべてユース又は駅、荷物はフロントバッグとシュラフのみ、という、まったく新しい、恐らく今まにはなかったと思われる、合宿の形態にトライしてみた成果は、それなりにあったと思われる。「クラブの合宿としてのサイクリングはかくあるべきだ」という考えもあるが、全く新しい別のパターンにトライしてみるのも又面白いものである。今迄とちがう走りをしてみる事によって、逆に今迄の走りをより一層深く知ることもできるのではないか、とNは考えたのだ。

完